

女性研究者養成に係る教員アンケートの集計結果

今年度は採択期間の最終年度にあたり、全学の教員を対象として、この5年間に大学における意識改革がどのように進んだかを調査しました。

集計結果（記述式の設問 12、17、22 は除く）は以下のとおりです。

実施期間：平成 27 年 2 月 9 日（月）～平成 27 年 2 月 18 日（水）

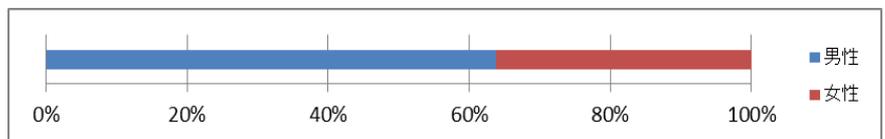
対象教員：奈良女子大学に所属する常勤の教員 208 名

回収件数：69 件

回収率：33.2%

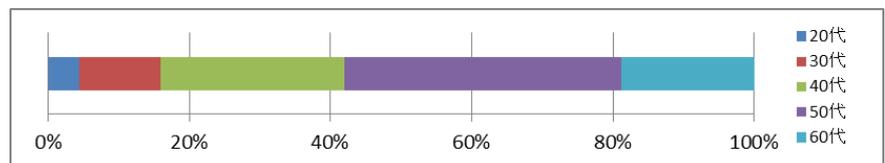
設問 1. 性別

性別	人数
男性	44
女性	25
合計	69



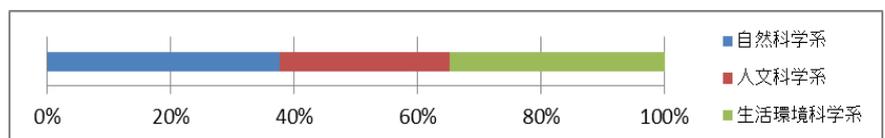
設問 2. 年齢

年齢	人数
20 代	3
30 代	8
40 代	18
50 代	27
60 代	13
合計	69



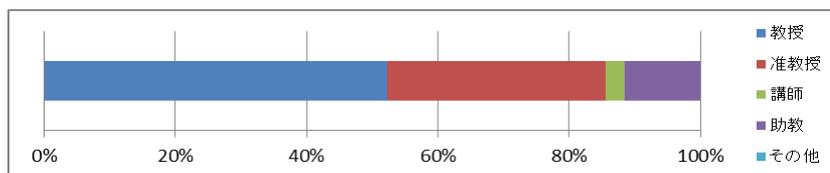
設問 3. 所属

所属	人数
自然科学系	26
人文科学系	19
生活環境科学系	24
その他	0
合計	69



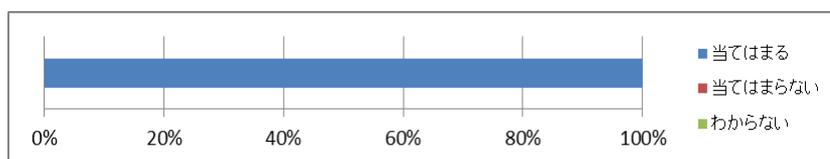
設問 4. 職階

職階	人数
教授	36
准教授	23
講師	2
助教	8
その他	0
合計	69



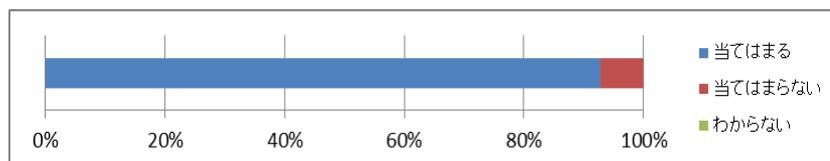
設問 5. 男女共同参画という言葉聞いたことがある。

回答	人数
当てはまる	69
当てはまらない	0
わからない	0
合計	69



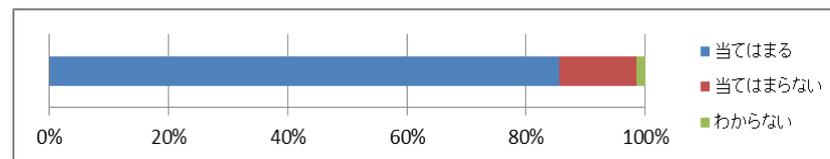
設問 6. 男女共同参画推進機構が設置されている事を知っている。

回答	人数
当てはまる	64
当てはまらない	5
わからない	0
合計	69



設問 7. 女性研究者養成システム改革推進本部が設置されている事を知っている。

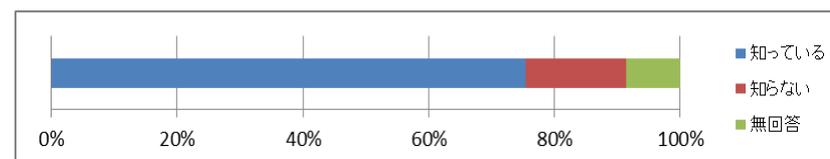
回答	人数
当てはまる	59
当てはまらない	9
わからない	1
合計	69



女性研究者養成システム改革推進本部が行っている次の支援についてお聞きします。

設問 8. ①スタートアップ支援（新規採用の理工系女性教員対象）

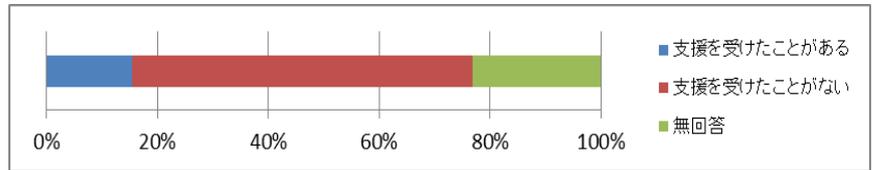
回答	人数
知っている	52
知らない	11
無回答	6



合計	69
----	----

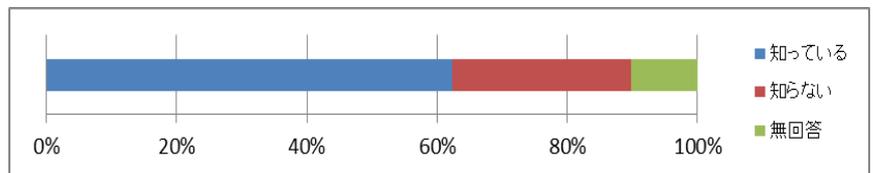
「知っている」を回答した人

回答	人数
支援を受けたことがある	8
支援を受けたことがない	32
無回答	12



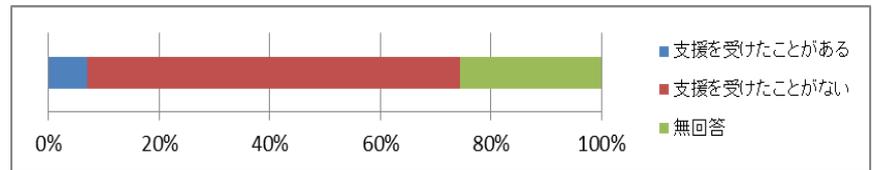
設問 9. ②メンターチームによるサポート支援（新規採用の理工系女性教員対象）

回答	人数
知っている	43
知らない	19
無回答	7
合計	69



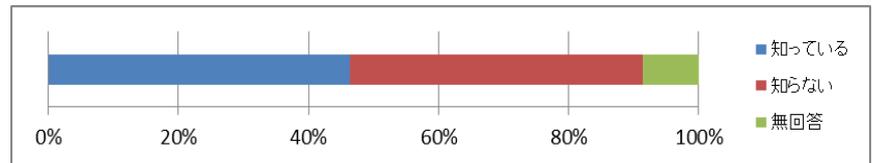
「知っている」を回答した人

回答	人数
支援を受けたことがある	3
支援を受けたことがない	29
無回答	11



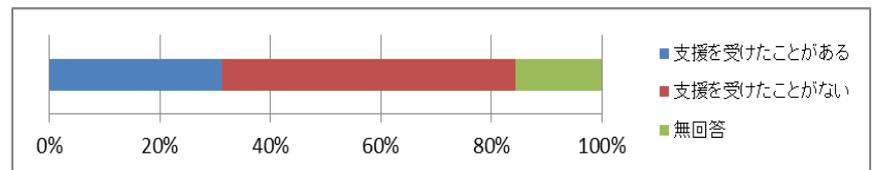
設問 10. ③研究スキルアップ支援（理工農系の既存籍女性研究者対象）

回答	人数
知っている	32
知らない	31
無回答	6
合計	69



「知っている」を回答した人

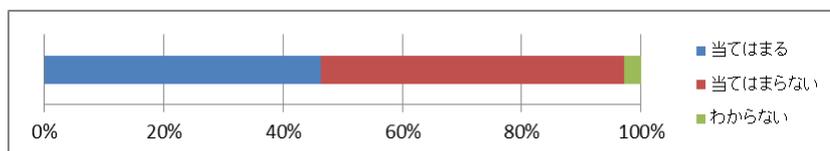
回答	人数
支援を受けたことがある	10



支援を受けたこと がない	17
無回答	5

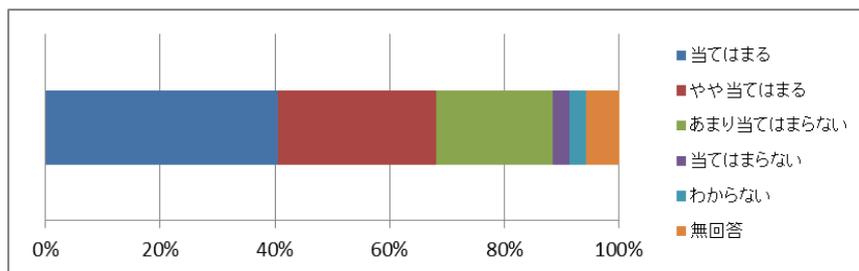
設問 11. 女性研究者養成システム改革推進本部のホームページを閲覧したことがある。

回答	人数
当てはまる	32
当てはまらない	35
わからない	2
合計	69



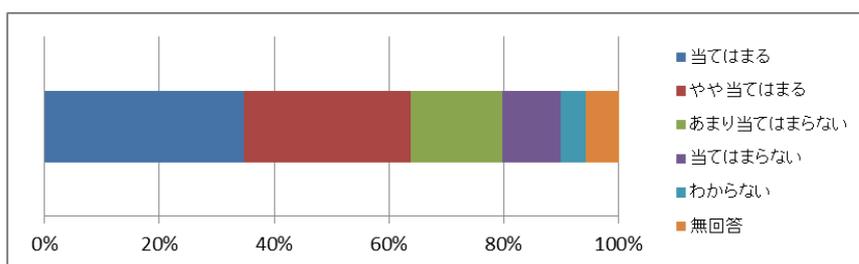
設問 13. 本学の女性教員（研究者）の活躍促進や比率増加のためには、経過的措置として、女性に限定した公募や女性教員比率の数値目標などがある程度必要である。

回答	人数
当てはまる	28
やや当てはまる	19
あまり当てはまらない	14
当てはまらない	2
わからない	2
無回答	4
合計	69



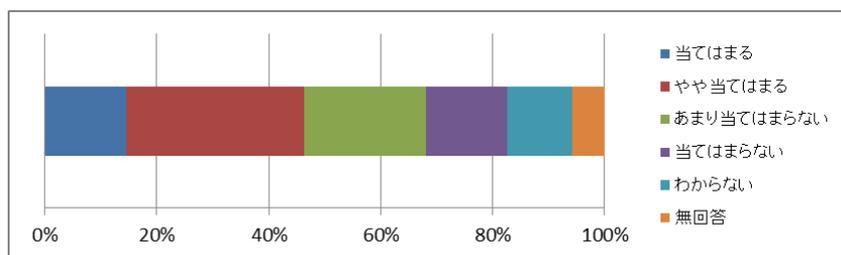
設問 14. 新規採用の女性教員（研究者）に対しては、スムーズに研究活動が行えるよう研究費の支給などのサポート支援が必要である。

回答	人数
当てはまる	24
やや当てはまる	20
あまり当てはまらない	11
当てはまらない	7
わからない	3
無回答	4
合計	69



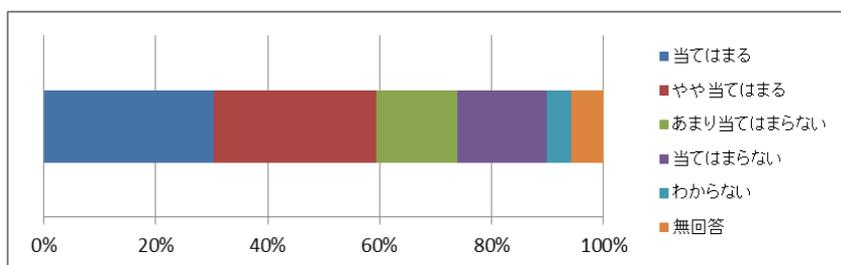
設問 15. 新規採用の女性教員（研究者）に対しては、研究成果があがるように複数の教員（メンター）によるサポート支援が必要である。

回答	人数
当てはまる	10
やや当てはまる	22
あまり当てはまらない	15
当てはまらない	10
わからない	8
無回答	4
合計	69



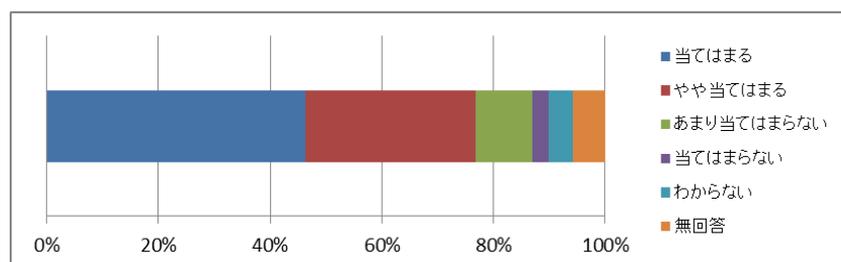
設問 16. 女性教員（研究者）の研究の質的向上とスキルアップのために、国内外学会発表に係る経費および英語論文校閲経費の支援がある程度必要である。

回答	人数
当てはまる	21
やや当てはまる	20
あまり当てはまらない	10
当てはまらない	11
わからない	3
無回答	4
合計	69



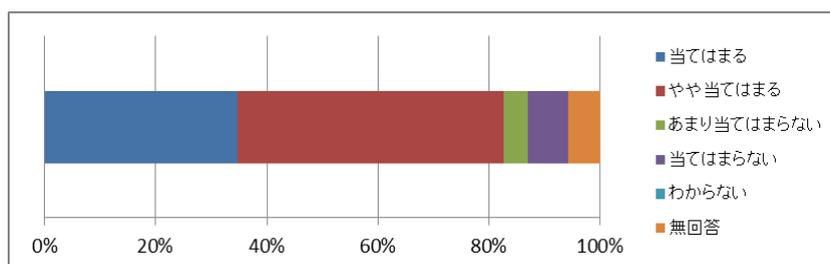
設問 18. 本学では、男性教員の 9 割強が教授・准教授なのに対し、女性教員では教授・准教授・助教の割合が各約 3 割である。この現状は改善されるべきである。

回答	人数
当てはまる	32
やや当てはまる	21
あまり当てはまらない	7
当てはまらない	2
わからない	3
無回答	4
合計	69



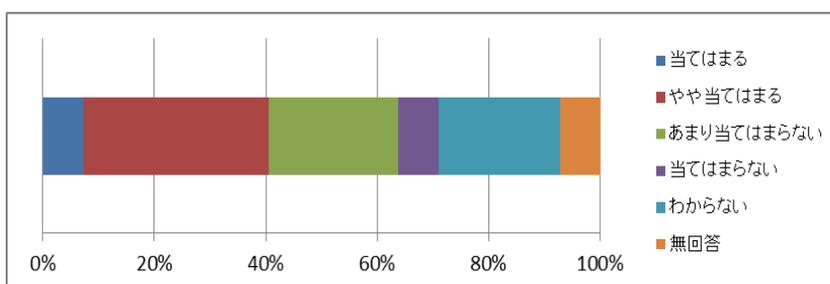
設問 19. 女性教員が増えれば、女子学生のロールモデルとして、優秀な女子学生の進学が増えるとともに、男性とは異なるコミュニケーションや発想が教育研究や管理に反映され、大学の活性化に役立つ。

回答	人数
当てはまる	24
やや当てはまる	33
あまり当てはまらない	3
当てはまらない	5
わからない	0
無回答	4
合計	69



設問 20. この事業の採択期間(平成 22 年度～平成 26 年度)の 5 年間に、女性教員の採用や支援についての大学全体の意識は変わったと思いますか。

回答	人数
当てはまる	5
やや当てはまる	23
あまり当てはまらない	16
当てはまらない	5
わからない	15
無回答	5
合計	69



設問 21. この事業の採択期間(平成 22 年度～平成 26 年度)の 5 年間に、女性教員の採用や支援についてのあなたご自身の意識は変わったと思いますか。

回答	人数
当てはまる	5
やや当てはまる	23
あまり当てはまらない	17
当てはまらない	9
わからない	10
無回答	5
合計	69

